

## 第 28 回 観光戦略実行推進会議 議事要旨

1 . 日時：平成 31 年 1 月 21 日（月）17：00 - 17：30

2 . 場所：首相官邸 4 階大会議室

3 . 出席者：

（政府側）

菅内閣官房長官、石井国土交通大臣、片山地方創生担当大臣、浮島文部科学副大臣、原田環境大臣、西村内閣官房副長官（衆）、古谷内閣官房副長官補（内政担当）、田端観光庁長官、濱野内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）、和田内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）兼観光庁次長、宮田文化庁長官、野村宮内庁長官官房審議官、佐々木総務省大臣官房地域力創造審議官、佐々木法務省入国管理局長、山名財務省大臣官房審議官、宮崎厚生労働省大臣官房生活・衛生食品安全審議官、室本農林水産省農村振興局長、蝦名国土交通省航空局長、正田環境省自然環境局長

（有識者・敬称略）

マイケル・ダイクス（エクスペディアホールディングス株式会社代表取締役）、村山慶輔（株式会社やまところ代表取締役）、デービッド・アトキンソン（株式会社小西美術工藝社代表取締役社長）

4 . 議事概要

観光庁より 2020 年訪日外国人旅行者数 4000 万人等の目標達成に向けた対策、および観光ビジョン関係の平成 31 年度当初予算等について（資料 1、資料 2、参考資料 1、参考資料 2）、資料に基づき、以下のとおり説明。

【田端観光庁長官】

- ・ 4,000 万人等の目標達成に向けて、今後 1 年間で取り組むべき課題について、これまでの推進会議における議論を踏まえた案を説明する。
- ・ 昨年 2018 年の訪日外国人旅行者数は、3,119 万人と初めて 3,000 万人を突破した。消費額も 4 兆 5,064 億円と過去最高を記録した。今後、2020 年 4,000 万人、消費額 8 兆円等の目標達成に向けては、外国人が楽しめる環境整備、観光コンテンツの充実を進め、地方に誘客することが重要。
- ・ まず、外国人が楽しめる仕様に変えるための環境整備が、早急に対処すべき課題である。具体的には、外国語表記や無料 Wi-Fi、キャッシュレス対応などの環境整備について、観光地や交通機関、農泊、文化財、国立公園などにおいて、スピード感を持って、計画的・戦略的に進める必要がある。
- ・ さらなる課題として、外国人が喜び、地域のインバウンド消費を増やす、新たなコンテンツを導入していくことが必要。具体的には、夜間公開やライトアップ、体験型コンテンツの充実や民間活用などの取組について、博物館・美術館やクルーズ、インフラや国立公園、観光地、古民家や城泊、三の丸尚蔵館などにおいて、前例にとらわれずに進めていく必要がある。
- ・ 説明したような課題に取り組むためには、自治体や DMO を中心とする、官

民の人材が連携した体制を構築していく必要がある。

- ・海外向けのプロモーションについては、JNTO への情報発信の一元化や、デジタルマーケティングの活用により、効果的なプロモーションを実施していく必要がある。
- ・空港などの出入国においては、顔認証技術の導入等により、出入国のさらなる迅速化に取り組む必要がある。
- ・こうした課題について、有識者の皆様のご意見も踏まえながら方針を決定し、2020年4,000万人等の目標達成に向けて、取り組んでいく。
- ・昨年同様、観光ビジョン関係の平成31年度予算について、関係省庁のご協力の下、取りまとめさせていただいたので、報告させていただく。詳細は参考資料として配布させていただいている。

○ダイクス氏（資料3-1）、村山氏（資料3-2）、アトキンソン氏（資料3-3）より、2020年訪日外国人旅行者数4000万人等の目標達成に向けた対策について、それぞれ資料に基づきプレゼン。

○質疑応答の後、最後に菅内閣官房長官よりご発言。主な内容は以下のとおり。

【菅内閣官房長官】

- ・今年が2020年の4,000万人の目標を実現し、我が国が真の観光立国になれるかどうかという「勝負の年」である。
- ・1月から500億円規模の国際観光旅客税を創設し、本日有識者の皆さんからも指摘のあった、外国人に本当の意味で日本を楽しんでもらう基本的な環境整備をまず行っていく。
- ・外国語による表示やアナウンス、無料Wi-fi、キャッシュレス対応など、当たり前なことをスピードを持って行っていかなければならない。
- ・美術館・博物館、国立公園など、我が国の公的施設は、外国人観光客にとってはキラコンテツとなれる魅力を有しているが、まだ活用しきれていないのが現状である。国立博物館の夜間開放、皇居の乾通りの一般公開など、安倍政権発足以降、各施設の取り組みを促進してきているが、早朝・夜間、年末年始も含めた休日の開館について、あらゆる施設においてさらに努力し、国として観光立国の環境整備のために、まずできることを自ら行っていく必要がある。
- ・本日はデジタルマーケティングを強化すべきだというご意見をいただいた。JNTOを中心とした海外へのプロモーションの方法、DMOなど各地域ごとに観光コンテツを磨き上げる仕組みについては、重要な課題である。
- ・何よりも重要なのは、この会議で提起された課題は、各大臣、各省庁が共有して実行に移すことであり、観光庁を中心に積極的に協力していただきたい。

○石井国土交通大臣より閉会

- ・本日の第28回会合はここで閉会とする。なお、本日の議事については要旨を公開することを予定している。

以 上